



「生成AIパイロット校」による 先端技術を活用したICT教育

成田市 | 企業版ふるさと納税マッチング会 資料

成田市企画政策部 企画政策課

✉ kikaku@city.narita.chiba.jp

☎ 0476-20-1500



01 | ICT教育の現状と課題について

02 | これまでの取り組み

- ▼フェーズ1 環境整備
- ▼フェーズ2 生徒と教師の意識改革
- ▼フェーズ3 具体的な取り組み

03 | これからのミッション・ビジョン

- ▼ICT×教育のミッション・ビジョン
- ▼生成AIパイロット校の挑戦

04 | 企業の皆様へ

企業が本事業に参画する社会的意義

ICT教育の現状と課題について

ICT×教育

社会が急速にデジタル化するなか、国全体として教育にICT活用を推進していくという政府の方針もあり、ICT教育は広く導入が進められています。

ICT教育の推進には様々な課題

ICT教育の推進には「教師のITスキル不足」「プライバシーとセキュリティ」「地域間・学校間の教育格差」

「デバイスの管理と保守」「教員の働き方改革」など**様々な課題**がある中で全国の学校が試行錯誤しながら進めているところです。

これらの課題を解決するためには、教育現場だけでなく、行政、企業、地域、児童生徒とその保護者など社会全体が協力・理解し合って進めていく必要があり、**特に企業との連携がこの事業を大きく後押しすると考えています。**

ICTを活用することがゴールではない

ICTはあくまでも教育を充実させるための**ツールの一つ**であり、活用すること自体が目的化しないようにしなければなりません。

様々な課題がある中においても、社会は急速に進化し続けています。
複雑で変化の激しい時代の中で子供たちが自分自身を見失うことなく、**創造的に未来を切り拓く**ことができるよう、ICTを一つの**手段**として「子供たちの心に寄り添う」教育を目指します。

02 これまでの取り組み

フェーズ1 環境整備

2021

【全学校】

- ・全児童生徒にiPadを貸与
- ・タブレット用無線Wi-Fiを設置
- ・全普通教室にAppleTVを設置
- ・Microsoft、Apple、Googleの各アカウントを配布

2022

大型提示装置
(65型大型ディスプレイ) を約360台入替

2023

文科省「リーディングDXスクール」認定
(成田西中学校、加良部小学校)

2024

- ・文科省「リーディングDXスクール」認定
(成田市立西中学校、加良部小学校)
- ・文科省「生成AIパイロット校」認定
(成田西中学校、加良部小学校)
- ・「Apple Distinguished School」認定
(成田市立西中学校 2024～2027)

Apple Distinguished School

Apple Distinguished Schoolは、Appleの学びに対するビジョンをテクノロジーを通じて実践している、リーダーシップと卓越した教育の現場です。そして私たちは、世界でも有数の革新的な教育機関であると考えています。

※Appleホームページより引用
<https://www.apple.com/jp/education/k12/apple-distinguished-schools/>

2025～

- ・全教職員に校務用端末としてMacBook配布 (予定)
- ・ゼロトラストネットワークアクセス導入 (予定)
- ・生成AI 「class cloud」 導入 (予定) など

ICT教育の推進に向けて学校全体の風土づくりを行う必要がある。

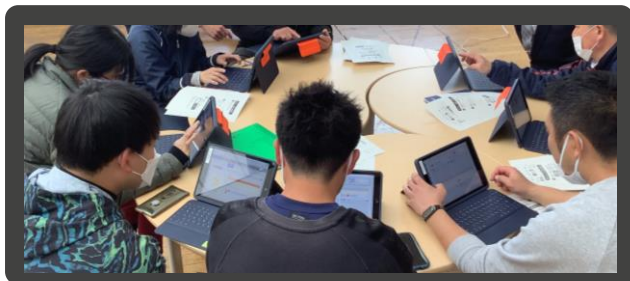
教師と生徒が同じ目線で「**活用が日常化**」する環境づくりを行っている。

教 師

Narita Nishi Junior High School

リーディングDX推進チーム

- DX推進グランドデザインの中核を担い、「風土づくり」を強力に推進。
- 生徒の学びを深めるため、まずは教職員のICT活用を日常化。また、クラウドサービスを活用し、時間や場所にとらわれずに検討、議論できる体制が整えている。

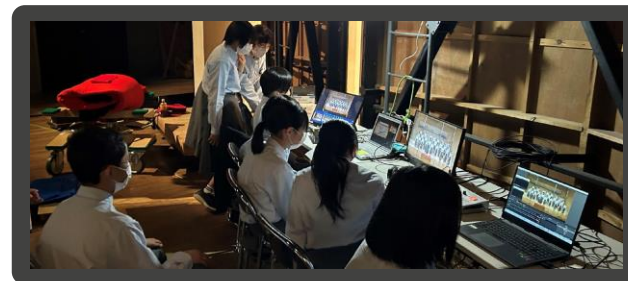


生 徒

Narita Nishi Junior High School

ICT委員会

- 生徒が主体的にICTを活用し、学校生活をより良くするための活動を促進。
- 生徒が主体となって、学校行事の記録や情報発信を行い、保護者に対して体育祭や合唱コンクールの配信を行うことで、保護者の理解を生むきっかけにもつながっている。

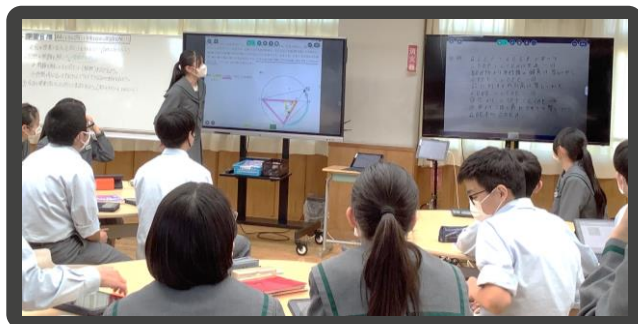


行政による環境整備と教育現場による教師・生徒・保護者の意識改革を進めたことでICT教育を後押しし、具体的な取組みに繋がっている

取組

01

改革の核 「クリエイティブ・ラボ」 の設置

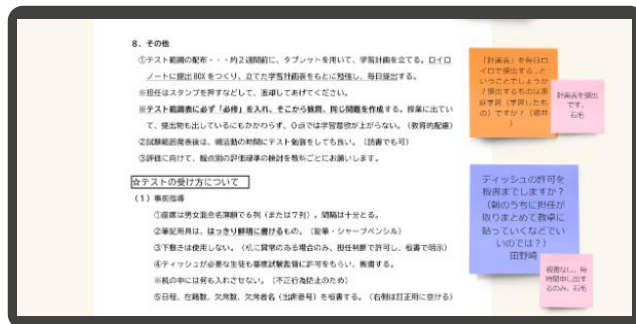


- ICT関連ファニチャー企業と連携して当該教室の設置が実現
- 机や椅子、ホワイトボードの配置を自由に変更ができる教室
- 教師→新たな授業への挑戦
生徒→違う環境で新たな刺激、高揚感

取組

02

教員の働き方改革 「オンラインワークスペース」 の活用



- 常に全職員が情報を共有し、ブレインストーミングを行う
- 時間や場所にとらわれずに検討・議論できる体制を構築
- 業務負担軽減のみならず、子供たちと向き合う時間の創出につながる

取組

03

子どもたちの心に寄り添う 「クラウド版生活ノート」 の活用



- 従来、紙のノートで行っていた生活ノートをクラウド版に置き換え
- 生徒が日々の心の状態や学習の進捗を「天気」に置き換えて入力
- 生徒のわずかな変化にも気づき、早急に悩みを察知することが可能に

Mission Vision

実現したいこと

Mission

ICTを活用した 「新たな学びの場の創造」

Vision

「誰一人取り残さない教育」の実現

急速に進化し続ける社会に適応し、これからの社会の創り手である子供たちが自分自身を見失うことなく、創造的に未来を切り拓く力を育むために、必要なツールやポリシーを積極的に取り入れながら「新たな学びの場の創造」を実践していきます。

また、単なるICTの導入や活用方法の研究に留まらず、学校をはじめ、企業・保護者など子供たちを取り巻く関係者が一丸となって、「誰一人取り残さない教育」をテーマに、より良い子供たちの未来のために積極的に前へ進み続けます。

学校教育の中で 生成AIを活用するための先導役 「生成AIパイロット校」

- 生成AIの進化により利便性は高まる一方で、教育現場ではその適切な活用方法や倫理的課題への対応が求められています。
- 生成AIを取り巻く懸念やリスクに十分な対策を講じることができる学校で、先端的な取り組みを進めて成果と課題を検証することを目指す、文部科学省の「生成AIパイロット校」に成田市立西中学校が認定され、今後の議論に資することを目指しています。



教育特化の生成AIサービスを活用

- 生徒が投げかける問いに対し、AIが直接的な答えを提示せず、対話を通じてさらに深い施行を促すアプローチが採用されています。
- 成田西中学校では、学校だけでなく家庭でも予習・復習などで活用できるよう柔軟に生成AIを使用できるよう環境整備しています。



教育効果の向上と教員の負担軽減

- 生徒の理解度に応じた指導や、きめ細かい学習効果の確認、対話的な教育方法の導入などが可能になることで、教育効果が向上します。
- これらの業務を生成AIが支援することで、教員の負担軽減も期待できることから、すでに教員は日常的に校務で使用しています。

企業が本事業に参画する社会的意義

意義 01

答えが決まっていないテーマに対する挑戦

ICT教育は急速に進化し続ける分野への挑戦で、ハード施設の建築など終わりの見えている事業ではありません。ですが、これからの社会の創り手である子供たちの成長のために、企業の皆様の成長と一緒に、一つ一つ実践を積み重ねていきたいと考えています。

意義 02

複合的に絡み合う社会課題への挑戦

ICT教育や教育のDX化は、日本が抱える少子化、教員の長時間労働など様々な課題に寄与する取組みとして注目されている分野です。私たちはすでにICT端末やネットワーク環境をはじめ教職員・行政・生徒も含め実践していく体制が構築されており、企業の皆様のノウハウを生かした官民連携・協力による、より先進的な取組みも可能です。

ベネ フィット

- ・ 感謝状贈呈式の開催
- ・ プレスリリースの発信
- ・ 市HPや市役所ロビーなどでのPR

